

エピソード（成長した子供たちの姿～小学校・中学校編～）

小学校、中学校と成長し、多様な文化や言語がある環境の中で、多様性を受け止める心が育ち、相手の文化や言語に寄り添いながら関わる子供たちの様子を紹介します。

小学校編

【教科書をつくろう～クラス会議から～】

（小学校6年生 6月：2名ともに在日1年）

担任が、児童一人一人との面談の際に、外国籍児童2名に日頃困っていることなどがないか尋ねると、「もっと日本語が話せるようになりたい」「周りの友達に自分から話しかけるのが恥ずかしくて、なかなか話しかけられない」と答えました。本人たちの思いをクラス全体に投げかけると、他の児童から「クラス会議」の議題として取り上げ、みんなで考えようと提案がありました。

外国籍の友達の困っていることや助けて欲しいこととして、

【①日本語が話せるようになりたい】【②自分から話しかけるのが恥ずかしい】

の議題2点についてクラス会議を行い、自分たちにどんなことができるのかを話し合いました。その結果、①については、日本語での会話を増やし、その際にはゆっくりはっきり話すこと、英語を日本語で伝えるなどの意見にまとまりました。②については、どんな時も周りから話しかけ、会話のきっかけをつくること、相手の様子を見て、話したような雰囲気を感じたら周りの子から話しかけるなどの意見がでました。

話し合いを進める中で、友達を手伝いたい、助けたいという思いから教科書を作ろうという提案に、全員が賛成し、日本語、英語、ベトナム語の「にほんのことばのきょうかしょ」を一人1ページ作成しました。

外国籍児童2名それぞれに1冊、クラスでも活用できるように1冊、計3冊を作成しました。

子供たちが、外国籍の友達のことを自分ごととして捉え、考えた時の行動力は素晴らしく、また、外国の文化を学ぶよい機会となりました。

【児童が作成した教科書】

